[illegible]

By David Wilkerson

August 27, 2001

[illegible] 1：4

[illegible]

[illegible] -[illegible]

[illegible] LASCIVIA][illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 7:20–22

[illegible]

[illegible]

[illegible] 12：20–21

[illegible]

[illegible]

[illegible]…[illegible](12：19)

[illegible]

[illegible]

[illegible] -[illegible](12：21[illegible]

ウロは記しています。

「私はもう二度もあなた方の会衆の中にある罪について警告したのです。あなた方は皆、神から来るところの、心を掴む説教を聞いたのです。そして、神の恵みによる賜物を分かち合っています。にもかかわらず、あなた方の中のある人々はその恵みをねじ曲げ、堂々と汚れのなかで暮らしています。もう一度いいます。私の賜物は取り扱いであり、破壊することではありません。私はあなた方を尊い信仰によって建てあげることに召されているのです。しかし私が三度目にあなた方のもとに赴くときには、私は厳しくあなた方を扱うしか選択の余地がないかも知れません。私は未だに罪の中に安住している人たちを決して見逃したりはしません」（コリントⅡ1~2，10節）

パウロは言葉を濁らさず､はっきり「私があなた方の信徒の罪について二度も警告した。あなたがだは聖霊が導く説教を聞き､神の恵みの賜物を受けたのに、あなた方の何人かはその恵みを曲げ、汚れの中に留まっている。私の賜物は、壊す事ではなく皆
さんを建てあげる事ですが、あなた方へ三度目に行く時は厳しく対処するしかありません。罪にふけっている人を容赦はしません。」と言っています。

皆さんにお聞きします。どうやって、こんなに祝福された人たちが、このようなあさましい状況を続けることを選んだのでしょうか。私たちはこの世が「みだら」であり、肉欲の赴くまま であると思っていますが、神の民がそうだとは思いもしません。しかし、この罪が神の家の中で、明らかに、横行していたということです。

同じことを今日の教会にも、問うてみましょう。
毎日曜日、クリスチャンという人たちは、教会に集まり、礼拝を捧げ、御言葉の取りつぎを聴き、交わりを持ちます。しかし、これらの聖く見られる人たちの多くが、情欲に満ちた生活を送っているのです。彼らは不品行と姦淫の罪を犯し、ポルノ中毒に身を任せているのです。教えてください。どうして、御言葉に照らされた信者がこのようなことをし続けることができるのですか。

まず、黙示録12章の預言に目を留めてください。激しく怒った悪魔が終わりの時には地上を覆い、神の民を誘惑するであろうと書かれています。

「...悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。自分が地上に投げ落とされたのを知った竜は、男の子を産んだ女を追いかけた。...ところが、蛇はその口から水を川のように女のうしろへ吐き出し、彼女を大水で押し流そうとした。」
(黙示録十二・12~15)

この箇所はサタンが終わりの時に教会を攻撃する様を描いています。悪魔が非常に大きく、強力な汚れの洪水を吐き出すため、神に選ばれた者の多くをも押し流してしまうのです。パウロはコリントの教会の多くの人々がサタンが起こした好色の流れに呑み込まれているように、これらのことが、すでに彼らの中でも起こっていると語ったのです。

現在、みだらさは教会の中に蔓延していると私は思います。国の隅々で、何百万人という人たちがエロティックな汚れに身を浸しています。ケンタッキー州の丘の上でも、アイオワ州の広大な農地の一軒家でも、アイダホ州の大放牧場でも、あらゆる年代層の人々が、みだらなことで魂を貪らせているのです。衛星放送で、彼らの居間に流されています。この汚れの洪水は実に見事に浸透し、老年の男女までがその中で耽っているのです。

私はこの現象を一九七四年出版の『The
Vision(幻)』の中で預言しています。これはビデオデッキが発明以前で、テレビで「セックス」が放送禁止用語の時代でした。当時、私はこう書いています。

「サタンはどのようにして神の選ばれた民を悩まし、惑わすのでしょうか。彼は、人類を誘惑し、モラルの低下をもたらすことでそうするのです。彼は地獄の門を開け、洪水を押しだし、エロティックな行い、好色と官能に世の中を浸すのです。このモラルの低下は人間の考え得るどの呪文によっても追い払うことのできないものとなるでしょう。すでに悪魔の情欲の霊が、裸と猥褻と好色の大水をもって、国々を覆っています。

今日ある、多くの敬虔なクリスチャンの思いと魂を汚れに浴させ惑わすときが来ようとしています。聖書はソドムにおいて、ロトが自らが見聞きしたことで、その魂を昼も夜も惑わされたと言っています。クリスチャンも、この時期に激しい汚れと官能に曝され、神にしっかりと掴まっていなければ生き延びることができない時代に遠くなく置かれるでしょう。二股を掛け，壁際に立つ者たちは、壁の下敷きになります。神の箱船の中に身を避けない者たちは、この汚れの洪水に呑み込まれてしまいます。

大手のテレビ局はこのモラル低下の地滑りにのってしまいます。ネットワーク局は近い将来に、乳房を露わにした女性たちの映像を放映しようとするでしょう。メディアをリベラル化させようとしている人たちによって、トップレスは流行となるでしょう。最初は、味見程度でしょうが、芸術界が表現の自由への大いなる突破を声を揃えて叫び、怒涛の水門は開けられ、何でもありの世界となるのです。祭司たちさえもテレビの裸を見て、これは健康的な進歩なのだと称賛するでしょう。驚く事に、これらに異論を唱えるのは、聖職者たちや熱心なクリスチャンと呼ばれる人たちではなく、政治の世界にある者たちや、ハリウッドの関係者なのでしょう。

皆さん、警戒してください。そんなに遠くない将来、最も悪しき、みだらな、ハードコアのポルノが一般ケーブルチャンネルで、真夜中に放映される日が来るのです。ケーブルテレ

□□□

[illegible]([illegible]12:28[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]13[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]([illegible]32:32)

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]1:19[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]([illegible]59:14[illegible]15)

[illegible]

[illegible]10[illegible]

[illegible]

否。パウロはその人たちについて

「神がそれ(真理)を彼らに明らかにされたのである」（ローマ人への手紙1:19）

と言っています。かつて、彼らは神の恵みの意味を完全に捉えていました。それにもかかわらず、どこかで捨てきれない情欲にとらわれてしまい、それ以来、真理を不義へと曲げてしまいました。自分たちの情欲・猥らさを覆い隠すために、偽りの恵みを強調するようになったのです。こうして間違った恵みの概念で偽りのイエスを語っているのです。

このメッセージを読んでいる人、ほとんどはユダが言っているような人物ではない。　　ユダはこう書きました。

「それなのに、この人たちもまた同じように、夢見る者であり、肉体を汚し、権威ある者を軽んじ、栄えある者をそしっています。」（ユダ書8）

私はこのメッセージの読者たちは、神を畏れる、神に従う僕たちであると思います。汚れを塗りたくる者ではなく、放縦を捨て、聖化へと導く神の恵みの中を歩んでいる人たちです。

けれども、時には、謂わば「猥らさに落ち」葛藤を体験している人たちもいるでしょう。情欲に身をゆだねたわけではありませんが、時々汚れたものを目にすることがあります。あるホテルの統計によると、キリスト教の集会などがそのホテルで開催されるときに、最も多くの成人向け有料チャンネルが視聴されているそうです。他の集会や集まりの時よりも教会関連の際に、もっと多くのポルノ映画が個人の部屋に流されているのです。

牧師やクリスチャンの中にも、情欲の虜になっている人たちがいます。牧会者への調査がこれを裏付けています。しかし、多くは時折、「猥らさに落ちる」人たちです。彼らは過ちを重ねる度、罪の責めを感じ、悔い改めます。そして、時々起こる失敗に対しても、そこから解放されたいと願っている人たちです。

今、特にそのような人たちに語りたいと思います。サタンはあなたがその都度、罪を悔い改め、神に叫ぶことを知っています。彼はまた必ず、神の許しを受ける事も知っています。ですから、あなたが神への畏れを抱いている限り、サタンはあなたを完全に虜にすることはできません。それでは、私達の仇は、どのように神の民を惑わし、捕らえてしまうのでしょうか。どのように、真の恵みを知る者を、偽りの福音を教え、選民を欺くために教会に送り込むのでしょうか。

悪魔が、あなたを罪に縛れるのは、偽りを信じ込ませる事だけです。つまり、悪魔は、自分の偽りを真理とあなたを説得しなければなりません。罪を犯しながらでも、神の真理を保つことはできると偽るのです。あなたは同意しないかもしれません。「どうしてクリスチャンがそんな手口にだまされるでしょうか。私は神が私の罪を見過ごしにされるとは考えもしません」

サタンは、神の恵みとは、ただ、終わる事のない赦しの流れであると騙すのです。彼はこう囁きます。「悔い改める限り、罪を犯し続けても平気。イエス様も490回も人を赦すようにと教えたのではないか。尚更、あなたの愛する救い主は、それよりも赦して下さるはずだ。あなたが悔い改めの心を持ち，自分の罪に嘆く限り大丈夫。何千回情欲に自分を晒しても、神はその都度赦されるでしょう。」

これは非常に真理に近いので、真理に聞こえます。確かに、真の悔い改めに与えられる神の赦しは終わりがありません。この話の九五パーセントくらいは正しいのですが、残りの五パーセントが毒なのです。恵みについて、このサタンの「五パーセントの嘘」がパン全体を台無しにする悪魔のパン種であり、やがてあなたの魂を破滅へと追いやるのです。

「こんなことは私には起こらない」と思っていませんか。
皆さんはこう言われるかもしれません。「私は聖書が正しく教えられる生きた教会に通っている。私の周りには恵みの福音を捻じ曲げ罪の容認とする先生はいない。新約の恵みについて聞いている事は、罪との戦っているクリスチャンたちに神の憐れみが向いているとのことだ。私は自分の中に肉を克服する力がないことも知っているが、聖霊は私が御言葉に従えるよう力を与えて下さる。」

皆さんは素晴らしい、人を自由にする、人生を変える真理を知っていますが、もしあなたが時折罪を犯し続けるなら、サタンはあなたが罪をある面で好いていることに、真剣にその罪から離れたくないことを知るでしょう。同じ罪をそのように繰り返すことによって、あなたはサタンに心の入り口を開くのです。その入り口から入り、偽りをあなたに埋め込むのがサタンの常とう手段です。

「この真理はあなたを自由にする素晴らしいものではないか。あなたの中には罪に打ち勝つ力がない。だから、神は聖霊様を送って、あなたが自分で出来ないことをすると約束されているんだ。あなたがすべきなのは嘆くことだけで、失敗は問題ないのだ。聖霊様が時にあたって介入し、力づけるのだよ．自分でコントロールできない罪について、神は裁かれたりはしない。」

□□□